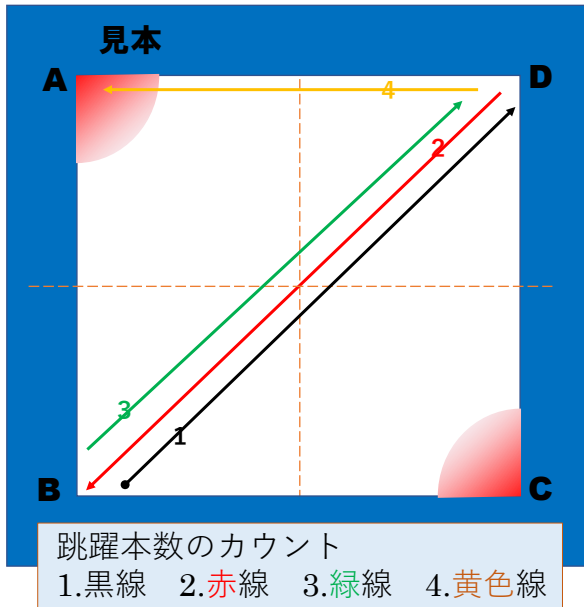


ゆか 同じ対角線の連続使用について



ゆかの対角線の利用について、FIGにより以下の規則が説明されています。（採点規則抜粋）

2. 実施と演技構成の方向性

- c) 選手はフロアエリア全体を使用しなければならない。対角線の合計使用回数に制限はないが、**同じ対角線の連続使用は3回まで認められる**。選手は、**同じ対角線を3回続けて使用した場合、その次にゆかフロアの一辺(サイドライン)を使用して、対角線先のコーナーとは別のコーナーに向かわなければならない**。同じ対角線を3回を超えて**連続使用した場合は、0.3のニュートラルディダクション**（演技中一回のみ）となる。

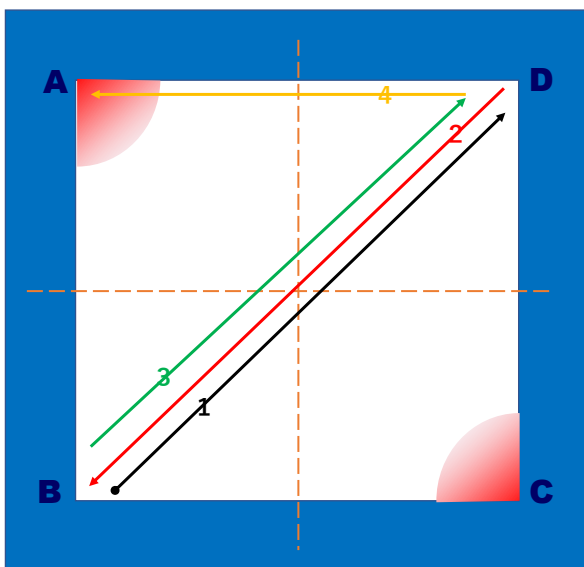
現時点での情報および方向性をここに示します。

2022年3月8日

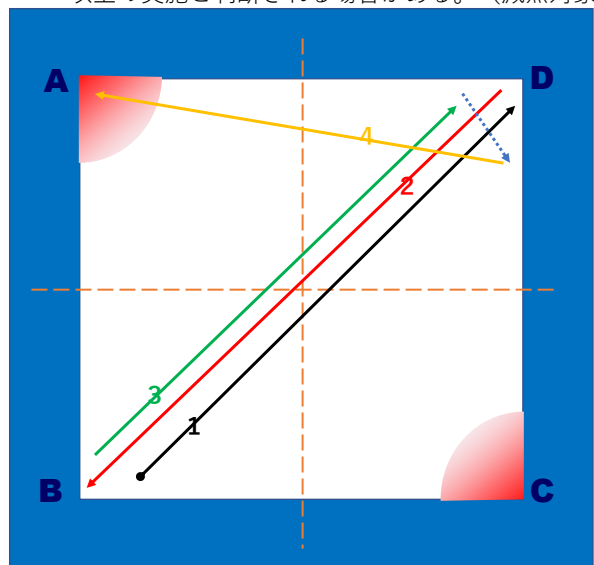
（公財）日本体操協会
審判委員会体操競技男子審判本部

認められる動き

1. DからAのコーナーへ向かう（**見本**と同じ）
連続カウントが途切れる（0）となる。

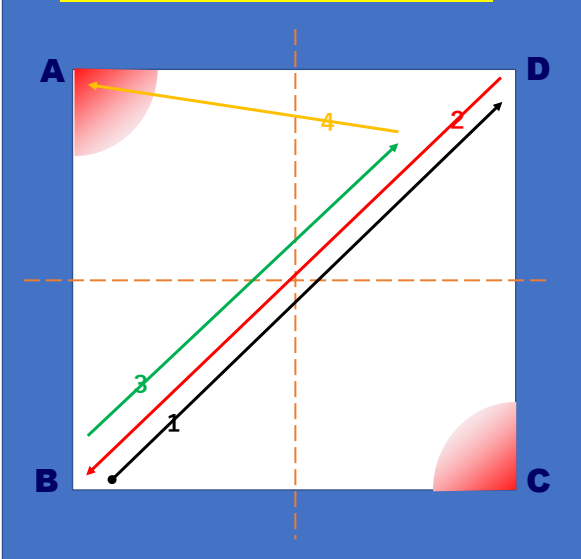


2. Dからやや離れた箇所からAのコーナーへ向かう
※ Dコーナーから離れすぎる（青点線）と12メートル以上の実施と判断される場合がある。（減点対象）

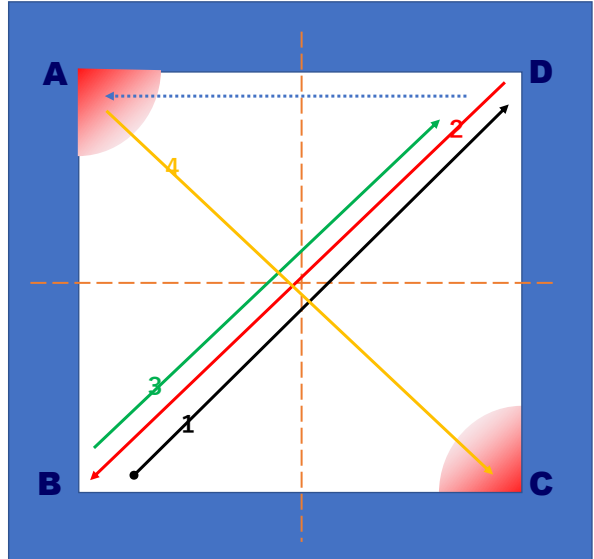


認められる動き

3. ライン3がDまで行かず、そこからAへ向かう。
 3本目の終わりの地点によってはA-Cの対角線
 1本目のカウント①となる可能性あり。

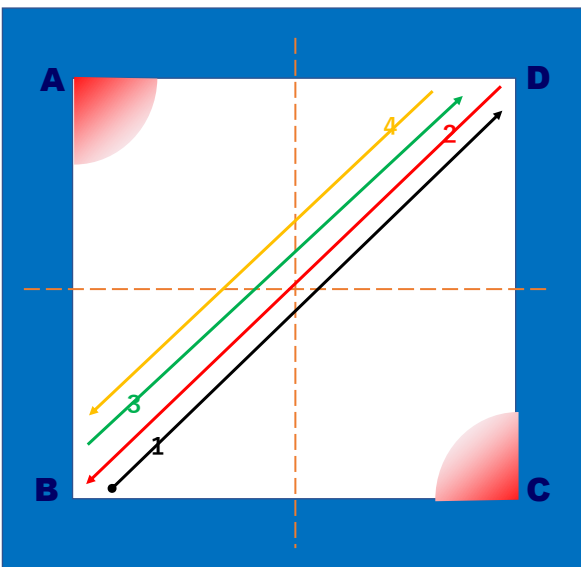


4. DからAへグループIや難度にない技により移動
 AからCへ跳躍技を実施

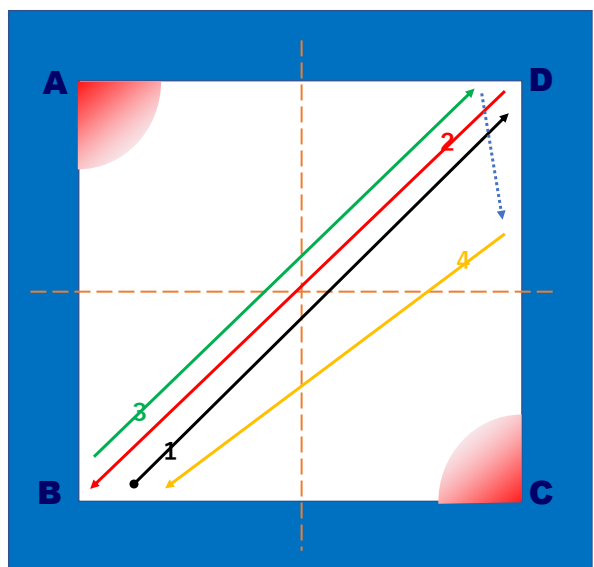


認められない動き ND 0.3

- ①. 4連続の対角線利用

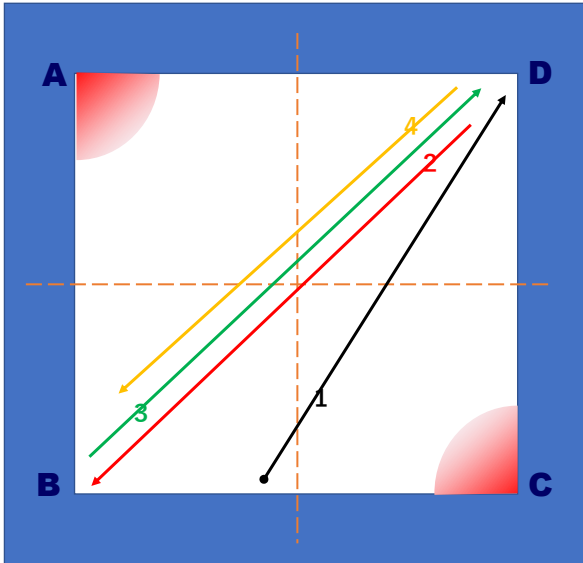


- ②. 3本目以降、Dからやや移動して、Bに向かう

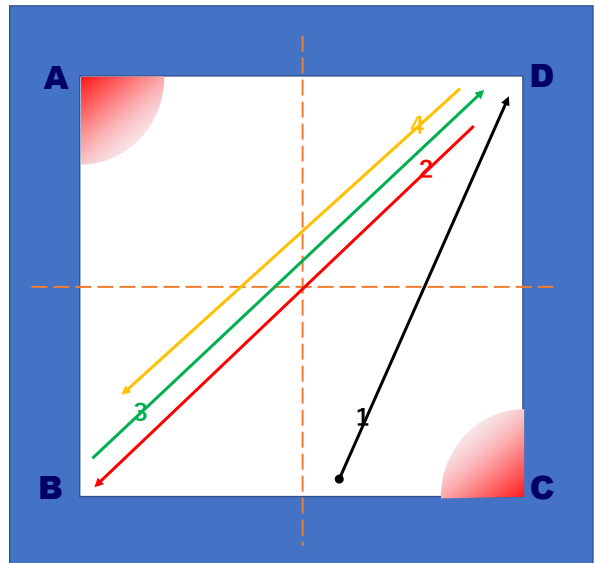


認められない動き ND 0.3

③. 1本目がBDの中央（ややB側）からスタート

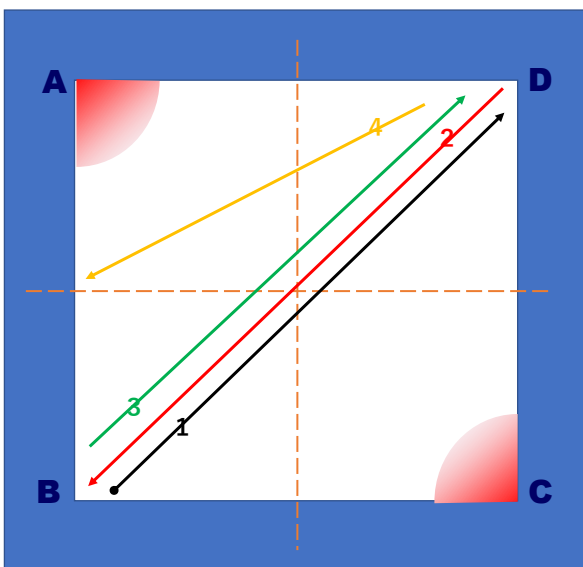


④. 1本目がBDの中央（ややC側）からスタート
Cのコーナーではない

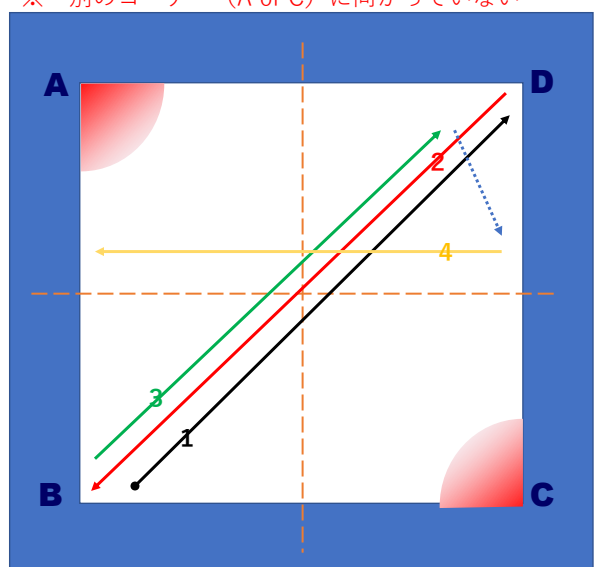


認められない動き ND 0.3

⑤. Aのコーナーでなく、ABの中央に向かう
※ 別のコーナー（A or C）に向かっていない



⑥. ラインADに平行であるが、Aのコーナーでなく、
ABの中央に向かう
※ 別のコーナー（A or C）に向かっていない



FIGに確認がとれている現在の情報から

- ・「コーナー」とするエリアの範囲は不明
(角から○メートルという説明はない)
- ・エリアの範囲に印をつけることはない
- ・対角線の利用が4連続ではないが、別のコーナーに向かわない場合、減点の対象になる



1. 必ず、対角でないコーナーに向かうこと
2. コーナーのエリア範囲は不明であるため、誰もがコーナーに向かっていると判断される実施にすること
3. **認められない動き**はしないこと
4. FIGの新たな見解が通達されるまで、本情報を適用する